

謝 辞

このたびは、多くの皆様方のご協力を得まして、「Japio YEAR BOOK 2018」を発行することができましたことを、心より御礼申し上げます。

ミニ特集である「特許庁×AI」、「女性活躍×特許情報業界」、「Yearly Review in PI field」に対し、ご多用のなか、これらの分野において第一線でご活躍されている皆様にご寄稿を賜りました。ここに深甚なる感謝の意を表します。また、国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター 辻井潤一 研究センター長から特別寄稿を賜りますとともに、官公庁、各種団体、大学、企業等の各界を代表される方々から多数のご寄稿や情報システム・サービスの紹介を賜りましたことを、重ねて厚く感謝申し上げます。

本誌に掲載された情報は、特許情報や技術情報に関係される多くの方々に有益な情報となり、さらに情報システム・サービスを提供しておられる各社様の今後のご発展の一助になるものと確信しております。

当財団は、質の高い特許情報を提供することにより、経済社会への貢献を目指すことを理念として、企業の技術開発の促進等に貢献すべく、特許情報の充実と普及啓発に取り組んでおります。今後もこの理念を時代に沿った形で実現していくために、特許情報の「機械翻訳」や「検索」に関する技術の研究や、急速に進展してきたAI技術の活用研究を通じ、当財団が提供する特許情報の品質向上及び高度化に努めて参ります。さらに、「産業日本語」の研究・普及、「Japio YEAR BOOK」発行や「特許情報フェア&コンファレンス」開催などの機会を通じて、特許情報に関連する知見や最新技術動向を広くお知らせし、社会に貢献していく所存です。

今後とも、私ども一般財団法人日本特許情報機構に対して、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。謝辞とさせていただきます。